

はじめに

この冊子は、大学院医学系研究科博士課程の授業科目の履修方法及び内容の一部を示したものです。

授業科目の履修方法は、「香川大学大学院学則」及び「香川大学大学院医学系研究科規程」に定められております。

なお、博士課程を修了するための要件の概要は、4年（標準）以上在学し、本医学系研究科規程「別表第2」に従い、授業科目を履修し、30単位以上を修得の上、博士論文を提出し、論文審査に合格することです。

入学年度に履修科目登録を行いますので、所定の期日までに「履修届」を提出してください。履修届の提出がなく履修した科目の修得単位は、原則的に認められませんので注意してください。

次に、科目区分による修得単位数及び授業時間数の概要を説明します。

【共通科目（必修科目）】6単位

必修科目であり、医学系研究科（博士課程）の共通科目として6単位修得しなければなりません。共通科目の履修については出席及びレポートで評価します。

- ・ 医科学概論 2単位
集中講義20時間のうち15時間以上と実技指導セミナーを1講座受講
- ・ 医科学特論 2単位
講義24時間のうち15時間以上と実技指導セミナーを1講座受講
- ・ 希少糖科学特論（1単位）は集中講義で行います。
- ・ 研究・生命倫理（1単位）は「倫理委員会主催の講演会（学内）」と「APRIN e-Learning プログラム（研究倫理教育 e-Learning）」を受講すること。

【専門科目（選択科目）】16単位以上

選択科目は、研究テーマおよび博士論文テーマ等を基に研究を進めるための学習です。

4つの科目群から主科目を選択し、8単位以上（主指導教員の開講する科目を1科目以上含む。但し、がんプロフェッショナル養成コースは除く。）、副科目（主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えて履修可）から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を修得します。

※がんプロフェッショナル養成コース選択者は、がんプロフェッショナル養成科目群の共通コアカリキュラム及びがん専門共通科目は必修です。

【課題研究】8単位 指導教員による論文指導

以上、【共通科目】6単位、【専門科目】16単位以上、【課題研究】8単位の合計30単位以上の単位を修得した上で、博士論文の審査を受けることができます。

2020年度香川大学大学院（博士課程）

【医科学概論】 集中講義16時間以上と実技指導セミナー1講座を受講 場所：臨床講義棟2階

月 日	9:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50	
4月6日 (月)	(ガイダンス) ※1	大学院とは (副医学部長) 研究者倫理 <2時間>	図書館情報と研究 (医学部分館長) 医科学概論 ※2 <4時間>		RIの特徴と研究 への利用 (中村、西本) 医科学概論 <2時間>	
月 日	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50	18:00-19:30
4月7日 (火)	動物実験に関する教育訓 練 (星野、宮下、寺中) 医科学概論 <4時間>	動物実験施設の 役割・利用者講 習会 (星野、宮下、寺中) 医科学概論 <4時間>	実験実習機器部門の役割と その利用 (神鳥) 医科学概論 <4時間>		大学院の 国際競争力 (和田) 医科学概論 <2時間>	医療情報学 (横井) 医科学概論 <2時間>

※1 ガイダンスで学生証をお渡しします。履修届等の提出書類について説明します。

※2 図書館情報と研究は13時から看護学科棟2階のマルチメディア実習室で行います。

【医科学特論】 講義16時間以上と実技指導セミナー1講座を受講 場所：臨床講義棟1階

	18:00-19:30 (2時間)	19:40-21:10 (2時間)
4月8日 (水)	臨床研究について (薬理学:西山) <2時間>	トランスレーショナル・リサーチの実際 (薬理学:西山) <2時間>
4月9日 (木)	成長因子、生体内吸収材料を応用した再生医療 (呼吸器・乳腺内分泌外科学:呉) <2時間>	遺伝子治療と機能解析 (呼吸器・乳腺内分泌外科学:横見瀬/劉) <2時間>
4月10日 (金)	形態学・組織細胞化学アップデート (組織細胞生物学:荒木) <2時間>	癌個別化医療に利用される解析技術 (泌尿器科学:杉元/張) <2時間>
4月16日 (木)	細胞シグナル伝達解析技術: 蛋白質リン酸化とカルシウムシグナル (自律機能生理学:平野) <2時間>	
4月17日 (金)	ヒトゲノムプロジェクト、他生物ゲノム プロジェクトの動向とその意義 (総合生命科学研究センター 遺伝子研究部門:竹崎) <2時間>	タンパク質の3次元構造解析とその応用 (総合生命科学研究センター 分子構造解析研究部門:神鳥) <2時間>
4月23日 (木)	高速液体クロマトグラフ法: ビリルビン分析を中心とした (小児科学:岡田) <2時間>	
4月24日 (金)	蛋白質機能解析技術 (自律機能生理学:平野/山下) <2時間>	研究手法としての形態学形態学の基礎・ 組織定量・免疫組織化学 (神経機能形態学:三木) <2時間>

医学部学務課 大学院・入学試験係

2020年度医科学概論・特論(実技指導セミナー)開講講座

【 実技指導セミナー】

日時・場所については、指導教員の指示による。

専攻	講座	テーマ	主たる実験手法	指導教員	
医学専攻	神経機能形態学	STEREOLOGYによる形態計測	組織標本(2次元)にStereologyを適応して、3次元の立体で粒子の数(例えば細胞数)を評価する方法を紹介する。	教授 准教授 助教	三木崇範 鈴木辰吾 太田健一
	分子神経生物学	病態解析用モデル動物の作成と利用	精神神経疾患・神経変性疾患・脳梗塞モデルの作成と解析	教授 助教	山本 融 高橋弘雄
	耳鼻咽喉科学	細胞のイオン輸送をリアルタイムで定量する	パッチクランプ法とイオンイメージング	准教授	宮下武憲
	炎症病理学	電子顕微鏡を使った実験の進め方	電子顕微鏡での観察のための標本作成	教授	上野正樹
	皮膚科学	未定(担当教員に問い合わせること)	未定(担当教員に問い合わせること)	教授	大日輝記
	呼吸器・乳腺内分泌外科学	siRNAによるノックダウン	細胞核にsiRNAを導入し、ターゲット遺伝子の発現をノックダウンする実験について、講義と実習を行う。	教授 助教	横見瀬裕保 劉 大革
	小児科学	HPLCの臨床応用	高速液体クロマトグラフィーを用いて、内因性及び外因性物質を分析する。	准教授	岡田 仁
		近赤外分光法の臨床応用	近赤外分光法を用いて脳および他の臓器の循環・代謝を評価する。	教授	日下 隆
	分子生理学	発現系を用いた膜蛋白質の機能解析	対象となる受容体やイオンチャネルをアフリカツメガエル卵母細胞に発現させ、電気生理学的にその機能を解析する。	教授	藤原祐一郎
	生化学	脂質代謝酵素の性状解析	蛋白定量及びウエスタン・ブロッティング	教授 学内講師	上田夏生 宇山 徹
	分子構造解析研究部門	3次元分子モデリングの手法を用いたタンパク質・リガンド相互作用の解析	1 タンパク質X線結晶解析によって3次元構造が決定されていく過程をコンピューター上で観察する。 2 タンパク質・リガンド複合体の3次元分子モデリングをコンピューター上でを行い、分子力学・動力学計算により複合体構造を評価・解析を行う。	教授 准教授	神鳥成弘 吉田裕美
	遺伝子研究部門	DNA塩基配列データ解析	DNA塩基配列データのデータベースからの収集、解析方法をコンピューターを用いて実際に行う	教授 准教授	竹崎直子 岩間久和
	薬理学	In Vivo イメージングによる病態解析	Two-photon Microscopy を駆使し、動物の各組織のリアルタイムイメージングを行う。	教授 准教授	西山 成 中野大介
	消化器神経内科	消化器癌におけるmicroRNAの網羅的解析アレイでの解析方法	microRNAの網羅的解析アレイでの解析方法	教授 講師 学内講師	正木 勉 小原英幹 森下朝洋
	泌尿器科学	CD-DST法による抗がん剤感受性試験	コラーゲン・ゲル・ドロップ培養法で抗癌剤感受性を評価する	教授 助教	杉元幹史 張 霞
	眼科学	糖尿病網膜症の分子メカニズム	網膜虚血および緑内障モデルの作成	教授	鈴間 潔
	内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学	細胞への遺伝子導入法	細胞への遺伝子導入は分子生物学的実験の基本となっている。今回は、実際の細胞、プラスミドを使用し、導入効率も含め一貫した遺伝子導入法のプロセスの説明をおこないたい。	教授 准教授	村尾孝児 井町仁美
	免疫学	フローサイトメトリーの原理と実際	フローサイトメトリーを用いた細胞表面抗原の評価	教授 助教 助教	星野克明 仁木敏朗 財賀大行
	公衆衛生学	生物統計学への招待	研究で使用する基本的統計処理手法について解説し、サンプルデータを用いた実技指導を行なう。	教授 准教授	平尾智広 宮武伸行

大学院医学系研究科博士課程の修了要件

区分		修了要件単位数
共通科目	医科学概論	2
	医科学特論	2
	希少糖科学特論	1
	研究・生命倫理	1
専門科目	ライフサイエンス科目群	16
	トランスレーショナルリサーチ科目群	
	臨床医・メデイカルスタッフ養成科目群	
	がんプロフェッショナル養成科目群	
課題研究	合計	30

- ※講義15時間以上と実技セミナー1講座
- ※講義15時間以上と実技セミナー1講座
- ※集中講義
- ※倫理委員会主催の講習1回以上とCITJapan(倫理教育 (e-learning))



各科目群ごとの専門科目修了要件 ○は選択科目群
 区分 修了要件単位数

○

ライフサイエンス科目群	8	指導教員担当科目を1科目以上
トランスレーショナルリサーチ科目群	4	
臨床医・メデイカルスタッフ養成科目群		
がんプロフェッショナル養成科目群 (がん専門選択科目のみ修了要件となる)		

○

トランスレーショナルリサーチ科目群	8	指導教員担当科目を1科目以上
ライフサイエンス科目群	4	
臨床医・メデイカルスタッフ養成科目群		
がんプロフェッショナル養成科目群 (がん専門選択科目のみ修了要件となる)		

○

臨床医・メデイカルスタッフ養成科目群	8	指導教員担当科目を1科目以上
ライフサイエンス科目群	4	
トランスレーショナルリサーチ科目群		
がんプロフェッショナル養成科目群 (がん専門選択科目のみ修了要件となる)		

○

がんプロフェッショナル養成科目群	8	共通コアカリキュラム及びがん専門共通科目の8単位は必修
ライフサイエンス科目群	4	
トランスレーショナルリサーチ科目群		
臨床医・メデイカルスタッフ養成科目群		

医学系研究科博士課程 科目表

科目区分	授業科目の名称	年次	単位数		担当教員(所属)
			必修	選択	
共通科目	医科学概論	1前	2		日下隆 (小児科学) 他
	医科学特論	1前	2		日下隆 (小児科学) 他
	希少糖科学特論	1後	1		日下隆 (小児科学)・新井明治 (国際医動物学)・南野哲男 (循環器・腎臓・脳卒中内科学)・星川広史 (耳鼻咽喉科学)
	研究・生命倫理	1前	1		日下隆 (小児科学)・西山 成 (薬理学)
専門科目 基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース ①ライフサイエンス科目群	希少糖の機能	1・2通		4	星野克明 (免疫学)・西山 成 (薬理学)
	発達神経科学	1・2通		4	三木崇範・鈴木辰吾 (神経機能形態学)・日下 隆 (小児科学)
	分子形態学特論	1・2通		2	荒木伸一 (組織細胞生物学)・江上洋平 (組織細胞生物学)
	組織細胞科学特論	1・2通		4	荒木伸一 (組織細胞生物学)・江上洋平 (組織細胞生物学)
	神経細胞生物学特論	1・2通		4	山本 融 (分子神経生物学)・宮下信泉 (動物実験部門)
	神経生理学	1・2通		4	藤原 祐一郎 (分子生理学)・山本 融 (分子神経生物学)
	生体分子センサー特論	1・2通		4	藤原 祐一郎・川鍋 陽 (分子生理学)
	呼吸循環生理学	1・2通		4	平野勝也・倉原琳 (自律機能生理学)
	循環生理シグナル伝達学	1・2通		4	平野勝也・倉原琳 (自律機能生理学)
	薬理学特論	1・2通		4	西山 成 (薬理学)・岡田仁 (小児科学)
	脂質生物学	1・2通		4	上田夏生・大西 平 (生化学)
	酵素学実験法	1・2通		4	上田夏生・大西 平 (生化学)
	医用有機化学特論	1通		4	和田健司 (医用化学)
	医用分析化学特論	2通		4	和田健司 (医用化学)
	分子内分泌学	1・2通		4	中村隆範 (分子細胞機能学)・井町仁美 (内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学)
	核医学画像解析	1・2通		2	久富信之 (医用物理学)
	腫瘍病理学	1・2通		2	松田陽子・横平政直 (腫瘍病理学)
	分子神経病理学	1・2通		4	三木崇範・鈴木辰吾 (神経機能形態学)・上野正樹・千葉陽一 (炎症病理学)
	免疫組織化学	1・2通		4	上野正樹・千葉陽一 (炎症病理学)
	免疫制御学	1・2通		4	星野克明 (免疫学)
	寄生虫学特論	1・2通		2	新井明治 (国際医動物学)
	衛生動物学特論	1・2通		2	新井明治 (国際医動物学)
	微生物ゲノム科学	1・2通		2	桑原知巳・今大路治之 (分子微生物学)
	生活習慣病予防論	1・2通		2	宮武伸行 (衛生学)
	臨床疫学	1前		1	平尾智広 (公衆衛生学)・宮武伸行 (衛生学)
	生物統計学	1前		1	平尾智広 (公衆衛生学)・宮武伸行 (衛生学)
	医療管理学	1後		1	平尾智広 (公衆衛生学)・宮武伸行 (衛生学)
	健康危機管理論	2前		1	平尾智広 (公衆衛生学)・宮武伸行 (衛生学)
	国際保健論	2後		1	平尾智広 (公衆衛生学)・宮武伸行 (衛生学)
	法医学特論	1・2通		2	木下博之・田中直子 (法医学)
	医学教育学特論	1・2通		2	岡田宏基・坂東修二 (医学教育学)
	遺伝情報解析学	1・2通		4	竹崎直子・岩間久和 (総合生命科学センター)
	疾患ゲノム情報学	1・2通		4	竹崎直子・岩間久和 (総合生命科学センター)
生体分子立体構造学	1・2通		2	神島成弘・吉田裕美 (総合生命科学センター)	
実験動物学・動物遺伝学	1・2通		2	宮下信泉 (動物実験部門)	
糖鎖構造解析	1・2通		2	中北慎一 (糖鎖機能解析研究部門)	
医療情報学	1・2通		4	横井英人 (医療情報部)	

医学系研究科博士課程 科目表

科目区分	授業科目の名称	年次	単位数		担当教員(所属)
			必修	選択	
専 門 科 目	基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース ②トランスレーショナルリサーチ	希少糖と生活習慣病	1・2通	2	星野克明(免疫学)・西山 成(薬理学)
		バイオイメージング技術の開発・応用	1通	2	荒木伸一(組織細胞生物学)・江上洋平(組織細胞生物学)
		中耳・内耳バイオイメージング	2通	2	星川広史・宮下武憲(耳鼻咽喉科学)
		形成外科におけるバイオイメージング	1・2通	2	永竿智久(形成外科学)・久富信之(医用物理学)
		細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ	1・2通	4	平野勝也・倉原琳(自律機能生理学)
		生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1・2通	4	西山 成(薬理学)・宮武伸行(衛生学)
		iPS細胞の応用	1・2通	2	西山 成(薬理学)・三宅啓介(脳神経外科学)
		糖鎖情報と臨床応用	1・2通	4	中村隆範(分子細胞機能学)・中北慎一(糖鎖機能解析研究部門)
		加齢の分子機序	1・2通	2	松田陽子・横平政直(腫瘍病理学)
		免疫機能を調整する薬剤の開発	1・2通	4	星野克明(免疫学)
		微生物共生システムと応用	1・2通	2	桑原知巳・今大路治之(分子微生物学)
		健康測定・アセスメント	1・2通	2	宮武伸行(衛生学)
		医療経済・テクノロジーアセスメント	1前	1	平尾智広(公衆衛生学)・宮武伸行(衛生学)
		医療政策論	1後	1	平尾智広(公衆衛生学)・宮武伸行(衛生学)
		死因究明技術の開発	1・2通	2	木下博之・田中直子(法医学)
		タンパク質分子設計	1・2通	2	神島成弘・吉田裕美(総合生命科学研究センター)
		精神神経疾患の創薬科学	1・2通	4	山本 融(分子神経生物学)・宮下信泉(動物実験部門)
		イオンチャネル病	1・2通	2	藤原祐一郎(分子生理学)
		炎症性皮膚疾患の創薬コンセプト	1前	1	大日輝記(皮膚科学)
		自己免疫性水疱症の自己抗原の同定	1後	1	大日輝記(皮膚科学)
		睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発	1・2通	4	中村 祐・角 徳文・森 崇洋(精神神経医学)・安藤延男(地域連携精神医学)
		認知症診断の技術研究	1・2通	4	中村 祐・角 徳文・森 崇洋(精神神経医学)・安藤延男(地域連携精神医学)
		脂質異常症と心血管病	1・2通	4	南野哲男(循環器・腎臓・脳卒中内科学)・野間貴久(循環器内科)
		慢性腎臓病の進展抑制・機序の解明	1・2通	2	南野哲男(循環器・腎臓・脳卒中内科学)・祖父江理(腎臓内科)
		周産期の脳発達と子供の健康	1通	4	三木崇範(神経機能形態学)・日下隆・岩瀬孝志(小児科学)・安田真之(総合周産期母子医療センター)
		高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2	日下 隆・岡田 仁・岩瀬孝志(小児科学)・安田真之(総合周産期母子医療センター)
		近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通	2	日下 隆・岡田 仁・岩瀬孝志(小児科学)・安田真之(総合周産期母子医療センター)
		骨軟部腫瘍研究の臨床応用	1・2通	4	山本哲司・真柴 賛(整形外科)
		前立腺がんの新規マーカーの開発	1通	2	杉元幹史(泌尿器科学)・常森寛行(泌尿器・副腎・腎移植外科)
		低侵襲手術術式の開発	2通	2	上田修史・常森寛行(泌尿器・副腎・腎移植外科)
		癌とマイクロRNA	1通	2	正木 勉・出口一志(消化器・神経内科学)・小原英幹・森下朝洋(消化器内科)
		癌と遺伝子異常	2通	2	正木 勉・出口一志(消化器・神経内科学)・小原英幹・森下朝洋(消化器内科)
		がん薬物療法	1・2通	2	辻 晃仁(臨床腫瘍学)・西内崇将(がんセンター)
		分子イメージングの臨床応用	1・2通	4	西山佳宏・山本由佳(放射線医学)
放射線医学	1・2通	4	西山佳宏・山本由佳(放射線医学)		
動脈硬化症への遺伝子治療	1・2通	4	村尾孝児・井町仁美(内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学)		
病理診断学の臨床応用	1・2通	4	羽場礼次・門田球一(病理診断科)		
神経保護薬の臨床開発	1・2通	4	鈴間 潔・白神千恵子(眼科学)		
医工融合による医療機器開発	1・2通	1	永竿智久(形成外科学)・久富信之(医用物理学)		
救急・生体侵襲制御	1・2通	2	黒田泰弘(救急災害医学)		
臨床栄養・微生物学	1・2通	4	下野隆一(小児外科学)		

医学専攻
(博士課程)

医学系研究科博士課程 科目表

科目区分	授業科目の名称	年次	単位数		担当教員(所属)	
			必修	選択		
専 門 科 目	③ 臨床医・メデイカリストスタッフ養成科目群 高度医療人育成コース	希少糖医学	1前		1	星川広史 (耳鼻咽喉科学)
		地域医療学	1後		1	舩形 尚 (総合内科)
		高齢者医療学	1前		1	星川広史 (耳鼻咽喉科学)
		医療倫理	1前		1	南野哲男 (循環器・腎臓・脳卒中内科学)・岡田宏基 (医学教育学)
		生活習慣病学	1後		1	村尾孝児 (内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学)
		災害医療・災害医学	1後		1	黒田泰弘 (救急災害医学)
		神経病学	1・2通		2	中村 祐・角 徳文・森 崇洋 (精神神経医学)・出口一志 (消化器・神経内科学)
		脳神経外科学	1・2通		4	田宮 隆・三宅啓介 (脳神経外科学) 川西正彦 (脳神経外科)
		脳卒中特論	1・2通		2	田宮 隆・三宅啓介 (脳神経外科学) 川西正彦 (脳神経外科)
		運動器病学	1・2通		2	山本哲司・真柴 賛 (整形外科)
		精神病学	1・2通		4	中村 祐・角 徳文・森 崇洋 (精神神経医学)
		腎・泌尿器病学	1・2通		4	西山 成 (薬理学)・南野哲男 (循環器・腎臓・脳卒中内科学)・上田修史 (泌尿器・副腎・腎移植外科)・祖父江理 (腎臓内科)
		感染症学	1・2通		2	坂東修二 (医学教育学)
		血液病学 (血液・造血器・リンパ)	1・2通		4	門脇則光 (血液免疫呼吸器内科学)・今滝修 (血液内科)
		免疫・アレルギー疾患学	1・2通		2	土橋浩章 (血液免疫呼吸器内科学)
		呼吸器病学 (内科学)	1・2通		2	新講師 (血液免疫呼吸器内科学)
		呼吸器病学 (外科学)	1・2通		4	横見瀬裕保 (呼吸器乳腺内分泌外科)・呉 哲彦 (呼吸器外科)
		乳腺内分泌外科学	1・2通		2	紺谷桂一 (呼吸器乳腺内分泌外科)
		消化器病学 (内科学)	1・2通		2	正木 勉 (消化器・神経内科学) 小原英幹 (消化器内科)
		消化器病学 (外科学)	1・2通		2	鈴木康之 (消化器外科)
		循環器病学 (内科学)	1・2通		2	南野哲男 (循環器・腎臓・脳卒中内科学)・野間貴久 (循環器内科)
		循環器病学 (外科学)	1・2通		4	堀井泰浩・山下洋一 (心臓血管外科)
		母子周産期医学	1・2通		2	金西賢治・田中宏和 (周産期学婦人科学)
		皮膚病学	1・2通		2	大日輝記 (皮膚科学)
		眼病学	1・2通		2	鈴間 潔・白神千恵子 (眼科学)
		口腔病学	1・2通		2	三宅 実・大林由美子 (歯科口腔外科学)
		頭頸部病学	1通		2	星川広史・宮下武憲 (耳鼻咽喉科学)
		耳鼻咽喉疾患学	2通		2	星川広史・宮下武憲 (耳鼻咽喉科学)
		核医学	1・2通		4	西山佳宏・山本由佳 (放射線医学)
		IVR学	1・2通		4	西山佳宏・木村成秀 (放射線医学)
		痛み学	1通		2	白神豪太郎 (麻酔学)
		呼吸循環制御学	2通		2	白神豪太郎 (麻酔学)
		小児科学	1・2通		2	日下 隆・岡田 仁 (小児科学)
内分泌代謝学	1通		2	村尾孝児・井町仁美 (内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学)		
糖尿病学	2通		2	村尾孝児・井町仁美 (内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学)		
救急救命医学	1・2通		2	黒田泰弘 (救急災害医学)		
形態機能学	1・2通		2	永竿智久 (形成外科学)・真柴 賛 (整形外科)		
薬学	1・2通		2	小坂信二 (薬剤部)		
小児外科学	1・2通		4	下野隆一 (小児外科学)		

医学系研究科博士課程 科目表

科目区分	授業科目の名称	年次	単位数		担当教員(所属)					
			必修	選択						
専 門 科 目	④がんプロフェッショナル養成科目群	1	1前		e-learning外					
						研究方法論応用				
						・がん疫学論				
						・臨床研究論				
		1	1後			4	悪性腫瘍の管理と治療			
							・検査、診断法概論			
							・治療法概論			
							・治療合併症、支持療法、緩和治療			
							・老年腫瘍学			
							・がんの心理社会的側面			
							医療倫理学・医療経済学	0.5	1・2通	
		医療対話学	0.5	1・2通						
		がんチーム医療実習	0.5	1・2通						
		医療情報学(腫瘍学における情報システム)	0.5	1・2通						
		1	2通			4	がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学			
							臨床検査、病理、放射線診断学	0.5	2通	
							臓器別がん治療各論	2	2通	
							がん緩和治療	0.5	2通	
		2	3通			2	放射線治療法	柴田 徹(放射線腫瘍学)		
臨床腫瘍学	辻 晃仁(臨床腫瘍学)・西内崇将(がんセンター)									
放射線腫瘍学	柴田 徹(放射線腫瘍学)									
課題研究		3・4通	8							

(履修方法)

(1) 共通科目6単位、専門科目16単位以上、課題研究8単位の計30単位以上とする。

(2) 専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員(連携大学院については副指導教員)の開講する科目を1科目以上含む。ただし、がんプロフェッショナル養成コースは除く。)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えてよい。)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。

※がんプロフェッショナル養成コース選択者は、がんプロフェッショナル養成科目群の共通コアカリキュラム及びがん専門共通科目は必修とする。

※既修得の同一科目名の科目は履修できません。